



2年に1回行われる「おさらい会」の様子。会員の皆さんをはじめ、しんべえ先生の教え子たちが一同に集い楽しく踊ります

篠山に広げよう カントリーダンスの輪

カントリーダンスとは

カントリーダンスは、米国テネシー州のナッシュビルが発祥の地といわれています。ヨーロッパ中部のオーストリアやハンガリーなどからの移住者の民族ダンスが、アメリカ大陸でカントリー&ウエスタンの曲に組み込まれていきました。1人でも踊れるダンスですが、ときに男女が組む場合もあります。相手の肩に

手を添えたり、女性の手の甲に男性の手のひらを重ねたりして踊る、やさしく上品なダンスです。映画「サウンド・オブ・ミュージック」のシーンで、マリアとトラップ大佐が踊るあの優雅なダンス、また映画「シエーン」でシエーンとマリアン・スターレットが踊っているのが、カントリーダンスだと説明すると、なるほどと思われる方もおられるのではないのでしょうか。

ダンスグループ「篠山ウェーブ」

今回は、そんなカントリーダンスのグループ「篠山ウェーブ」(中野譲治代表の練習会場を訪れ、指導者のしんべえ先生や中野代表、会員の皆さんにお話をうかがいました。同グループは平成9年9月、しんべえ先生を指導者として誕生しました。きっかけとなったのは、しんべえ先生を講師に招き、行われたダン



練習に励まれる会員の皆さん

ダンスの輪を交流の輪に

指導者のしんべえ先生はフアツシヨンもカントリーダンスの講師そのもの。その先生にカントリーダンスの魅力をうかがうと「米国で初めてこのダンスに出会い、素朴で優雅。そして、おしゃれなイメージが気に入りました。すぐに習得しました」と話されます。続けて「今では振り付けなどを創作し、それをライフワークにしています。しっかりとした信念をもって、カントリーダンスに品位と楽しみを求めていきたいですね」と笑顔で話していただきました。

練習風景を見学させていただき、印象的だったのは、カントリーダンスを踊られている会員の皆さんのいきいきとした表情。中野代表にカントリーダンスの特徴をうかがうと、「初めての方でも簡単に踊れて、踊っていると楽しい気分になります。体を動かすよい運動にもなりますよ」と話されます。なるほど、会員の皆さんのいきいきとした表情も納得できます。また、練習の合間にも、和やかな雰囲気でおしゃべりをされ、交流を楽しまれているようでした。月1回の練習のほかにも、年に1回、発表会が行われている同グループ。発表会には、各地のしんべえ先生の教え子たち約100人が集まっています。また、2年に1回、行われる「おさらい会」も会員の皆さんの楽しみの1つになっているそうです。

■問い合わせ
中野譲治さん ☎552・1975



カントリーダンスグループ「篠山ウェーブ」の指導者のしんべえ先生(写真右から3番目)と会員の皆さんにお話をうかがいました

人が好き まちが好き

街かど Report レポート



リポーター やまもと さちこ
山本 幸子さん (川北)

カントリー&ウエスタンといわれる曲を聴くとき、アメリカ大陸の広大な田園風景が目に見え、そこに生活する人々が流れてくる音楽に合わせ、自然に踊りの輪をつくり、踊り楽しむ様子をイメージします。そんな曲に合わせて踊るカントリーダンスのグループが市内にあります。今回は、そのカントリーダンスグループ「篠山ウェーブ」の活動を皆さんにご紹介します。

215 特集

1617 街かどReport

1823 市政リーダー
まちの話題

2425 かわやまホール
スパーニング

2627 ぽんぽん

2831 Living Information
Smile